

令和4年度 陸別町社会福祉協議会 事業報告総括

令和4年度は、年度当初から順調な滑り出しと思ったのもつかの間で、5月連休後から町内の感染拡大を受けて、第1回理事会をはじめ各種会議を書面会議とせざるを得ない状況でした。その後の運営全般を通して総括すると、令和3年度の場合は国の指針に基づいた北海道による緊急事態宣言に基づいて判断ができるケースがあったのですが、令和4年度では、感染拡大の規模が大きくても規制が緩和されるなど、各種事業等の開催可否の判断において難しい場面が繰り返されました。

さらには、感染そのものがかつてないほどの広がりによって、町内でも多くの感染者が出てしまう事態となりました。そういった中、社協内において感染者が出た際には、出勤前の報告など適切に対処することで、事業への影響を最小限にとどめることが出来ました。

今後につきましても、この感染症の完全な終息に至る可能性は低いと考えておりますので、コロナとの共生を前提として基本的な感染予防対策を継続した上で、運営をしていきます。

地域福祉活動事業サービス区分では、介護予防事業のふまねっと運動・認知症カフェ事業のほっとカフェのほか子どもカフェなどは、中止せざるを得ないことがありました。一方で電話・給食サービス、介護用品給付事業、移送サービスなどは、一部感染拡大防止策を徹底して、実施しました。

また、一般の移送サービス利用増に対応すべく、車両の更新に向けて喫緊の課題として前年に財政支援の要望書を提出していたことが実を結び、町からの一部支援を受けてリフト付きセレナを購入することが出来ました。この車両に関しましては、移送業務以外でも多用途に活用していきます。

共同募金配分金事業サービス区分では、ふれあいお届け隊事業について対象者の方々に大変喜ばれました。訪問先では、安否確認のみならずそこで要望等を伺い、除雪依頼や移送サービス申請などの対応をすることが出来ました。ふれあい昼食交流会では、感染拡大の状況を慎重に見極めながら、町外へのバス旅行を2回実施しております。

生き生き元気健康講座については、前年度同様に食事を持ち帰りとするとともに、換気や参加者の間隔を広くするなど感染拡大に配慮して老人クラブ連合会との共催で実施しました。

権利擁護事業サービス区分では、生活困窮者の相談件数が増えた中で、日々の食料を確保出来ないほどの極限状態の事例が判明しております。急激な物価高を背景に今後さらに生活困窮者が増加することも想定し、北海道の補助事業「生活困窮者プラットフォーム事業」に応募しました。具体的な事業の内容は、フードバンクの運営です。これをスタートさせるにあたり、一定程度の備蓄食料、保管棚並びにポット式ストーブの他トイレトーパーなどの日用品も備えました。

訪問介護事業サービス区分並びに訪問入浴介護事業サービス区分では、日本テレビの24時間テレビチャリティー委員会より入浴車が寄贈されました。この機会に訪問入浴サービスのさらなる周知を図っていきます。

介護報酬の見直しを町を通じて国へ要望するとしていましたが、準備不足で提出に至っておりませんことにつきましては、率直に反省いたします。

介護報酬の見直し要望は、各団体から毎年国へ届けられておりますが、実を結んでいないのが実態です。しかしながら、特に人口の少ない地域へのより手厚い支援については、切実かつ喫緊の課題です。要望へ向けて町との協議・調整を踏まえ準備を進めていきます。

令和4年度事業報告

地域福祉拠点

事業内容	時期	場所	備考
I. 法人運営事業サービス区分			
1. 会務の運営			
1) 評議員会の開催			
第1回 令和3年度事業報告、収支決算の認定 理事の選任	5月27日		書面開催
第2回 令和4年度補正予算 規則の一部改正	12月26日	保健センター	評議員8名出席
第3回 令和4年度補正予算 振興基金の取崩し 令和5年度事業計画、収支予算の承認	3月24日	保健センター	評議員10名出席
2) 理事会の開催			
第1回 令和3年度事業報告、収支決算の認定	5月12日		書面開催
第2回 「みらいの福祉施設プロジェクト」への申請について 規則の一部改正	9月1日	役場庁舎	理事、監事10名出席
第3回 令和4年度補正予算 規則、規程の一部改正	12月15日	役場庁舎	理事、監事9名出席
第4回 令和4年度補正予算 要綱の制定 振興基金の取崩し 令和5年度事業計画、収支予算の承認	3月16日	保健センター	理事、監事11名出席
3) 監査の実施			
第1回 令和3年度事業決算処理全般監査	4月26日	社協事務所	(4/16外部監査実施)
第2回 6月末基準日全般監査	8月26日	社協事務所	
第3回 9月末基準日全般監査	10月31日	社協事務所	
第4回 12月末基準日全般監査	1月27日	社協事務所	
4) 三役会議の開催	10/11,12/13		2回開催
5) 福祉なんでも相談所の開設	随時		相談件数 56件
6) 各種大会、研修会等への参加（主なもの）			
・ 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会	6月10日	オンライン	会長、事務局長出席
・ 十勝管内社協会長地域懇談会	11月25日	音更町	会長、事務局長出席
・ 地域の支え合い活動推進セミナー	9月6日	音更町	役員4名、事務局長参加
・ 地域に理解され支持される社協づくり研修	2月3日	音更町	役員5名、事務局長参加
・ 十勝地区災害ボランティア組織連携会議	10月7日	帯広市	会長、事務局長出席
・ 法人役員研修	12月	オンライン	役員3名参加
・ その他社協役員研修会への参加	随時		
7) 高齢者就労センター運営管理	年間		

事業内容	時期	場所	備考
2. その他 1) 社協会費増強及び会費増口の推進月間 2) 住民弔慰供花料の贈呈 3) 関係機関、福祉施設、福祉団体との連絡調整 ① 民生児童委員活動との連携 ② 福祉団体への活動支援	7月～9月 年間 年間 年間	全 町	40件 200,000円支出
II. 地域福祉活動事業サービス区分 1) 電話サービス事業の実施《安否確認》 2) 食の自立支援事業の実施 ・ 給食サービス事業の実施 利用料 ～ 非課税世帯 1食 300円 課税世帯 1食 700円 ※社協負担(非課税世帯) 1食 400円 3) 介護用品給付事業の実施 ・ 介護度1～5(全世帯対象) 《1月チケット5枚まで利用可》 4) 介護予防事業の実施 ・ ふまねっと運動の推進 ・ ふまねっと運動教室の開催 《毎週1回開催》 5) 移送サービス事業の実施 ・ 人工透析患者の通院(足寄町国保病院) ・ 介護保険法で「要介護者」若しくは「要支援者」 で、一般の交通機関を利用するのが困難な方 6) 生活支援体制整備事業の実施 7) 認知症カフェ事業の実施 8) 地域子育て支援拠点事業の実施 9) 子どもカフェ事業の実施 10) 地域福祉活動推進事業の実施 ・ りくべつ鉄道まつり事業協力	年間 (週3回～月・水・金) 年間 年間 年間 34回開催 年間 (週3回～月・水・金) 年間 年間 9回開催 235日開設 5回開催	全 町 延1,353食 延 14食 計 1,367食 保健センター 高齢者交流C	延 576件 対象者6名(147回) 利用者延 134名 243回実施 業務委託 ～ (有)浜田旅館 利用者 23名 チケット利用枚数 380枚 参加者延 325名 協力:ふまねっと☆りくべつ 利用者延 804回 登録者延 5名 利用者延 134回 登録者延 16名 参加者延 143名 利用者延 2,651名 参加者延 269名 中止

事業内容	時期	場所	備考
IV. ボランティアセンター事業サービス区分 1) ボランティア活動のPR 2) ボランティアグループ活動の助成並びに後援 3) ボランティア活動実践登録者の推進 4) ボランティアの相談・あっせん・育成 5) 子育て支援の実施 6) 各種大会・研修会等への参加 ・ボランティア愛ランド北海道 7) とちちボランティアプラザ推進委員会事業への協力 ・ボランティアミニ愛ランド	年 間 年 間 年 間 年 間 年 間 年 間 年 間	 江別市 足寄町	 中止 中止
V. 権利擁護事業サービス区分 1) 成年後見実施機関業務（陸別町受託事業） ① 福祉総合相談窓口(福祉なんでも相談) ② 成年後見制度の普及、啓発 ③ 成年後見申立等の調整、対応、支援 ④ 受任等調整会議の開催 ⑤ 市民後見人活動支援 ⑥ 市民後見人フォローアップ研修の開催 ⑦ 事例検討会議の開催(地域ケア会議との連携) ⑧ 関係機関との連携、調整 2) 法人後見事業 ① 法人後見受任業務 ② 後見支援員登録、活動 3) 日常生活自立支援事業（道社協受託事業） ① 福祉サービス利用援助 ② 日常的金銭管理、書類等預かりサービス ③ 支援員の登録・指導・助言・現任研修等	 4月6日、5月30日 1月17日	 タウンホール	 2回開催 参加者 18名 受任件数 6件 支援員 16名 受任件数 1件
VI. 資金貸付事業サービス区分 1. 生活福祉資金貸付事業（道社協受託事業） 1) 生活福祉資金貸付の推進 2) 特別生活資金(冬期生活資金)貸付事業の推進 2. 生活応急資金貸付事業 1) 生活応急資金の貸付	 年 間 11月～3月 年 間	 	 1件 100,000円貸付 (貸付なし) 1件 50,000円貸付

在宅福祉拠点

事業内容	時期	場所	備考
I. 訪問介護事業の運営	年間		
1) 訪問介護事業			延 101件 825回
2) 総合事業			延 26件 178回
II. 訪問入浴介護事業の運営	年間		延 22件 66回
III. 障害者等居宅介護事業の運営			(実績なし)
IV. 苦情処理業務の苦情窓口の設置	年間		0件